

各位

水平リサイクルに必要なソフト

全国学校給食現場の管理者（排出事業者）は、廃プラの再資源化は希求するが、衛生的に腐敗・臭気問題を如何にクリアーするか、ここを解決するサプライチェーンがないから無理と考えている。

長年の技術調査に照らしてみると、廃プラ回収後の発生する腐敗・臭気課題をどのようにクリアーするか？ここが最大なる課題である。この課題を解決に導くサプライチェーンの入口に必要な技術は、(株)ジャパンナノコート技術と回収管理・衛生管理・トレーサビリティを支える(株)レコテックの廃棄物管理システム技術である。よって、これを繋ぎ、またサプライチェーンに必要な新たな自治体の個別指定を活かすことである。ここをつなぐことができれば、以下に紹介する課題が自治体と協議できれば、廃棄物処理に基づく合法的なプラの水平リサイクルは可能と考える。

改善に必要な項目

1. 衛生的観点から学校給食のプラをナノ技術で保管できるか？このラボ試験に入る。
2. 350余校を抱える横浜市は、プラを含めすべてレコテックが管理している。学校給食のプラ管理→再資源化で協議し、調査する必要がある。
3. 民間委託のない津市（小中40校）（全国20%の市町村）などは、自治体の焼却炉で処分。
一例だが、津市に「横浜市版の説明」で協議し、調査する必要がある。
4. 水平リサイクルする事業は、食育支援事業（他素材のモデル事業）になるが、リサイクルできないニトリル手袋はゴム業界で対処できるか？ここも協議し、調査する必要がある。
5. 自治体の個別指定で学校給食のプラ回収は可能。

1. [株式会社ジャパンナノコート/バインダー技術](#)

水中の大量のナノバブルを接触源としてその界面で反応分解を発生させ、水道の法規制となったPFASが分解される技術である。水の中のナノバブル量が多ければ多い程水中の有機物が速く分解できる。使用するエネルギーもトン当たり1000W以内の低エネルギーでの分解が可能で、メチレンブルーやローダミン等色素での分解速度を既存のオゾン分解と比較した際に約100倍以上の分解速度を有す技術である。また対象物のみを温める乾燥機で既存の温風乾燥機の1/10の時間での乾燥させる技術である。

2. レコテック「pool」による回収管理・衛生管理・トレーサビリティ

[プラスチック資源を循環させる pool 事業、プラ新法の大臣認定を活用し関東全域に拡大 | レコテック株式会社のプレスリリース](#)

3. 技術連携：萩原工業・いそによる再生材化

プラスチックの高度洗浄・再生技術における国内最高峰のエンジニアリング企業でもある。よって、萩原工業(株)および(株)いそが連携し、互いの再生原料化技術で高品質な再生ペレットに加工される。

4. 安心なリサイクル手袋のエコマーク登録は可能

プラスチック製手袋：No.128「日用品」分類Iでは、以下の通りである。

No.128「日用品 Version1.30」 分類I. ゴムホース・手袋・マット等ゴム製品

<https://www.ecomark.jp/nintei/128.html>

5. 広域認定の(株)おぎそが構築した「おぎそオーシステム」を参照

① [リサイクルの流れ | 株式会社おぎそ](#)

② [【学校給食】 ペットボトルをリサイクルして給食用の食器を作りました！ | 津山市公式サイト](#)

③ [おぎそが三重県津市と協定を締結、リサイクル PET 樹脂食器で環境教育を推進 - VOIX SDGs](#)

④ [脱炭素 70%削減の リペアの取り組み | 株式会社おぎそ](#)

秋田キャッス HOTEL の取組 [2606newsrelease_ecohotel.pdf | Powered by Box](#)

以上

海ごみから革新的な社会を考える会

Party of Ocean Green Innovative Society(p-ogiso)

循環プロバイダー 小木曾 順務

(株)おぎそ役員

いわむら一斎塾/高梁方谷会/安岡正篤郷学研修所

令和人間塾・人間学 lab. 会員